

北西太平洋津波情報センター業務の開始について

太平洋津波警報組織国際調整グループ(ICG/ITSU)^{注1)}では、太平洋全域を責任領域とする太平洋津波警報センター(PTWC)^{注2)}に加えて、津波の高さの予測や地域の特性に応じた基準による情報提供を行うため、いくつかの地域津波警報組織の設立につき検討を進めてきました。気象庁は、北西太平洋各国の意向調査の結果、津波の高さの予測に対するニーズが高かったことを踏まえ、津波の高さの予測情報を含む詳細な津波情報を提供する北西太平洋域における地域センターの役割を担うことを同グループ会合に提案し、平成 11 年 10 月にその旨合意されました。

その後、北西太平洋域の各国への詳細な情報(「北西太平洋津波情報」)を提供するための機能(北西太平洋津波情報センター)を構築するための準備を進めてきたところ、提供の準備が整ったことから、「北西太平洋津波情報」の提供を、3月28日から開始します。

「北西太平洋津波情報」は、別添図に示した北西太平洋域で大きな地震(マグニチュード 6.5 以上)が発生した場合に、その発生時刻、震源の位置、地震の規模及びこれらから推定される津波の発生可能性の有無と、津波の発生可能性がある場合の沿岸の指定された地点(別添表参照。PTWC が予測を公表している地点。)への津波到達予想時刻及び量的津波予報技術を適用して得られる沿岸における津波波高の予測値を提供するものです。また、太平洋域の潮位観測施設で実際に津波が観測された場合には、その内容をあわせて伝えることとします。

注1) International Coordination Group for the Tsunami Warning System in the Pacific

注2) Pacific Tsunami Warning Center

図 情報発表の対象となる地震の発生領域（青色の領域）



表 津波の予想到達時刻と予想波高を公表する沿岸地点

沿岸区	発表地点	緯度	経度
カムチャツカ半島東岸	ウスチカムチャツク	56.1N	162.6E
	ペトロパブロフスク-カムチャツキー	53.2N	159.6E
千島列島	セベロクリリスク	50.8N	156.1E
	ウルップ島	46.1N	150.5E
台湾東岸	フワレン	24.0N	121.6E
フィリピン諸島東岸	レガスピ	13.1N	123.7E
	パラナン	17.2N	122.6E
	ダバオ	06.9N	125.7E
イリアンジャヤ北岸	ベレベレ	02.5N	128.7E
	パタニ	00.4N	128.8E
	ソロン	00.8S	131.1E
	マノクワリ	00.8S	134.2E
	ワルサ	00.6S	135.8E
	ジャヤブラ	02.4S	140.8E
パプアニューギニア北岸	バニモ	02.6S	141.3E
	ウエワク	03.5S	143.7E
	マダン	05.2S	145.8E
	マヌス島	02.0S	147.5E
	ラバウル	04.2S	152.3E
	カビエング	02.5S	150.7E
	ケイタ	06.1S	155.6E
マリアナ諸島	グアム	13.4N	144.7E
	サイパン島	15.3N	145.8E
パラオ諸島	マラカル	07.3N	134.5E
ミクロネシア	ヤップ島	09.5N	138.1E
	チューク島	07.4N	151.8E
	ポンペイ島	07.0N	158.2E
	コスラエ島	05.5N	163.0E
マーシャル諸島	エニウエトク島	11.4N	162.3E

これらは、PTWC が津波到達予想時刻を公表している地点である。